

第39回政府現地対策本部会議 第44回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年7月5日（火）16：30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 被害の状況

・人的被害

死者75人（前回は6人増）、行方不明者1人（前回は同様に増）

※ 熊本市での関連死が6人増加

重軽傷者

熊本地震によるものが1,879人

・住家被害

熊本地震によるものが全壊、半壊、一部破損等合計153,249棟

・避難の状況

県内17市町村、97カ所の避難所に5,200人避難

・避難指示等の発令状況

避難指示 5市町村、避難勧告 6市町村で発令中

・罹災証明書交付申請受付件数等

受付件数 36市町村160,751件

二次調査依頼件数 28市町村32,626件

交付件数 126,409件

2 県等の対応状況

(企画振興部)

交通機関 JR九州（新幹線） 7月4日から通常の本数で運行

（豊肥本線） 7月9日から阿蘇～豊後萩の間で運行再開予定

(健康福祉部)

・仮設住宅への対応

応急仮設住宅については、3,469戸の建設に着手、1,012戸の工事が完了。

みなし仮設住宅の借上げは、県全体で4,000件以上の申請。

・義援金

289億円以上の御支援

(環境生活部)

・災害廃棄物等の処理関係

今週金曜日に県庁において、市町村との会議を予定。補助金関係、公費解体に伴う減失登記の関係などで、説明会及び意見交換会を実施。

(農林水産部)

- ・6/19からの大雨被害

154億円の被害、今後更に増える見込み。熊本地震との関連と思われるもの多数。

山、農地、水産関係が特に地震との関連が強い。(本部資料の写真で説明)

山：地震の被災地と被るエリアで被害

農地：小規模あるいは大規模の崩壊

水産：緑川、白川を中心に流木がかなり流れ出て、海域を漂流し、海岸に漂着している。漂着流木に関しては、海岸管理者が随時撤去事業にかかっている。漂流木に関しては、国土交通省の回収船が出動しているが、手が回っていない状況。そのため、対応するための予算の増額について、現在環境省に依頼するなど対応を検討中。

(教育庁)

- ・全国からの職員派遣の状況

長期派遣で児童・生徒の心のケア、学習支援にあたる職員：36人

学校施設の復旧等の技術的な支援(建築関係)：4人

(事務局)

- ・7/1付けで、危機管理防災課長の異動があったため、一言御挨拶申し上げる。

### 3 地震等の状況(気象庁発表)

#### (1) 余震活動

余震活動は、概ね1日10回未満で続いている。29日に震度4が1回、6月29日、7月1日、3日に震度3がそれぞれ1回。地震の発生は少なくなってきたが、余震が続いているため引き続き警戒が必要。今月上旬終わりごろに地震調査委員会が開催される。また、新たな評価が出るので改めて御説明申し上げます。

#### (2) 今後の天気予報

明日、明後日については、高気圧に覆われ概ね晴れる予想。ただ、強い日射があるのでわか雨等があるかもしれない。本日14時10分現在、人吉市で35.1度の猛暑日を観測。明日、明後日も35度前後の気温が予想されるので、野外等の作業については得に熱中症に注意が必要。水分補給等を適切に。

週間予報については、9日以降湿った空気の影響で雨が予想されている。30度以上の暑い日が続くので注意が必要。

梅雨前線については、現在太平洋高気圧の張り出しで停滞。17日頃まで梅雨前線の影響はないという風に考えている。

昨日台風第1号が発生。7日から8日にかけて沖縄付近を通過すると考えている。その後台湾で進路を北にすると予想しており、8日頃からうねりを伴った高い波が観測される場所があると予想。

台風の動向次第で現時点ではまだ分からないが、台風の進路によっては、通り過ぎた後に梅雨明けとなるかもしれない。

#### 4 補足説明

(国土地理院)

・復旧のための地理区間の整理として、応急復旧対策地図を作っている。整理のための資料を1回5月下旬に撮影したが、その後大雨による土砂崩壊発生など、状況が変化していることから前の撮影地域に一部地域を追加し、本日から撮影を行っている。

#### 5 政府現地対策本部長の発言

(内閣府・緒方審議官)

先週までの大雨で被害が更に大きくなった箇所もあるという状況。

避難所の数を見ると100箇所を切り、97となっており、避難者の数も5,200となっており、

仮設住宅についても1,012戸工事完了となっている。今後仮設住宅の完成に伴い、避難所から仮設住宅へ移動される方も多くなってくると考えられる。

国としても避難者を取り巻く環境が1日でも早く日常を取り戻していけるように、また熊本の復旧復興に向けてこれからも全力で取り組んでいく。

#### 6 県災害対策本部長の発言

(坂本知事公室長)

先月19日から25日にかけての大雨により、各地で土砂災害や浸水による被害が発生した。この被害の災害救助法の適用に関しては、熊本地震との関連性が認められれば、地震に伴う被害として取り扱うことが可能となる旨について、健康福祉部から各市町村に対し、通知されている。

先ほど農林水産部から報告があったように、各部においても、今回の大雨による被害が熊本地震の影響によるものであるのかどうか確認のうえ、対応していただくようお願いしたい。

本日は先ほどお話があったとおり、熊本県内で今年初めての猛暑日を記録した。

梅雨明けの話も出ましたが、南方では台風1号が発生している。引き続き、大雨等への警戒を怠ることなく、各部局とも万全の対応をお願いしたい。

#### 7 その他

次回の会議は、7月12日（火）16：30から開催予定。

(以上)